

タイトル	2022年度 学校推薦型選抜 共同教育学部 保健体育専攻 面接・小論文問題
評価の ポイント	<p>(面接) 教育および保健体育に関する基本的知識や課題に対する思考力、判断力、表現力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に対する基礎的知識と理解度 ・ 論理性 ・ 表現力 ・ 将来性（大学の学びに対して意欲的であるか） <p>(小論文) 保健体育に関する総合的な思考力、問題発見および解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育・保健体育の授業の果たす役割について記述している。 ・ 教師がどのように指導するかについて考えを述べている。 ・ 内容（記述内容の正確さ、発想の豊かさ等） ・ 考察力（考察の妥当性、深さ） ・ 論理能力（論理展開の正確さ、論旨の明確さ） ・ 文章表現能力（文章表現の豊かさ、正確さ） <p>【解答例】 人間は、それぞれの年齢層で、体力や技能などの身体的側面、気力や情緒などの精神的側面、地域や所属する集団・組織などの社会的側面といった様々な状況が変化し、それに伴いスポーツの楽しみ方も変化していく。各ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方にはそれぞれ特徴があり、年齢を経るにつれて「する」ばかりでなく「みる」「支える」「調べる」などに広がり深まってくる。学童期においては、主に学校を中心に心身の発達や技能の向上をめざして体育やスポーツが行われ、体育・保健体育授業では、楽しさを追求しながら、今ある体力や技能を高めたり、伸ばしたりすることがめざされる。さらに高校では、卒業後に向け、選択したスポーツ種目の楽しさを深めながら体力や技能の向上をはかることがめざされる。</p> <p>このような体育・保健体育の授業を実現するために、教師は運動の楽しさや健康の意義に気づき、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組み、考察するとともに学習を振り返り、課題を修正したり新たな課題を設定したりする主体的な学びを促す、また運動や健康についての課題解決に向けて、他者との対話を通して自己の思考を広げたり深めたりする対話的な学びを促す、さらにそれらの学びの過程を通して、自己の運動や健康についての課題を見つけ、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深めるよう指導することが重要である。</p> <p>(594字)</p>